

二〇一〇年七月三・四日 土曜礼拝・第一・第二礼拝

主題：『人生の土台を据えよう』 説教者：野田勝利師

二〇〇六年テーマ「土台を据えよう」

聖書箇所：ルカによる福音書六章四六節～四九節

(聖書箇所)

46 「わたしを主よ、主よ」と呼びながら、なぜわたしの言つことを行わないのか。47 わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。

48 それは地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しつかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。

49 しかし、聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せると、家はたちまち倒れ、その壊れ方がひどかった。」

(聖書解説)

A (対象) このたとえは、形だけの祈りをしながら、イエスの言葉を実行しない人に向けて語られている。

B (たとえの大枠) 人生が( )の建築にたとえられる。

ルカ文書の読者と想定されているギリシヤ人は、固い土地に慎重に穴を掘って土台を据えるのが普通であった。

C (要点) 岩に達するまで掘り下げるのは苦勞の多い仕事である。人生の土台を据えるには、「忍耐」が必要である。

D (要点) 時として、人生に、洪水のような( )がやってくるのが想定されている。そこで、人の生き方が本物かどうか証明されるのである。

E (結論) 人生の土台とは、イエスの教えを聞いて実行する生き方のことである。この土台を忍耐強く据える者は、どのような困難に直面しても揺るがない歩みをする事ができる。

B・家 D・苦難

メッセージポイント

私たちの生き方の信頼性は、( )

によって証明される。

(c) ペトロ1:7 あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊く、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。

御言葉を実行する生き方を、( )

強く建て上げよう。

(c) ダニエル書 10:12

「ダニエルよ、恐れることはない。神の前に心を尽くして苦行し、神意を知ろうとし始めたその最初の日から、お前の言葉は聞き入れられており、お前の言葉のためにわたしは来た。」